

アメリカシロヒトリの一般的な薬剤防除については下記を参考にしてください。尚、地域によっては効果が著しく低下している薬剤もありますのでご注意ください。

5 月中旬頃から越冬世代の発生がします。密度が高くなる前から計画的に防除することが大切です。詳しくは園芸技術課担当までお問い合わせください。

## 1. 防除時期

- **若齢幼虫期に防除するのが最も効果的。**
- 老齢幼虫になると発生密度が高くなり、葉を暴食するので薬剤による防除は困難になる。
- 孵化直後の幼虫は巣網を張って群生し、葉脈を残して葉を食べるため、被害葉は透けてみえる。次第に巣網は大きくなり、目につきやすくなり、その後、幼虫は分散する。

以上の特性から 3 段階に分けて防除することが効果的である

- 越冬世代幼虫…5 月中旬～6 月上旬頃発生
- 第 1 世代幼虫…6 月中旬～7 月上旬頃発生
- 第 2 世代幼虫…8 月上旬～9 月上旬頃発生

## 2. 防除スケジュール（案）

時期	薬剤名	倍率
5 月中旬～ 6 月上旬	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000
	サムコルフロアブル 10（ジアミド系）	2,500～5,000
	モスピラン顆粒水溶剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4000
	バリアード顆粒水和剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000
6 月中旬～ 7 月上旬	スミチオン乳剤（有機リン系）	1,000
	ダイアジノン水和剤 34（有機リン系）	1,000
	フェニックスフロアブル（ジアミド系）	4,000～6,000
	サムコルフロアブル（ジアミド系）	2,500～5,000
	ディアナ WDG（スピノシン系）	5,000～10,000
8 月上旬～	バイスロイド EW（合成ピレスロイド）	2,000
	アディオフロアブル（合成ピレスロイド）	1,500
	アーデントフロアブル（合成ピレスロイド）	2,000
	イカズチ WDG（合成ピレスロイド）	1,500

- ◆ ディプテックス乳剤は製造しておりません。農家在庫がある場合のみ使用してください。
- ◆ 有機リン系のダイアジノン水和剤やスミチオン乳剤だけでは、効果が発現しにくい場合もありますので、ジアミド系殺虫剤（フェニックス F やサムコルフ他）も併せて使用すると効果的です。
- ◆ 多発時（盛夏期）は薬剤効果が著しく低下するので、その場合は速効的かつ残効が長い合成ピレスロイド剤を使用する。